

## 公表

## 第61回 技能五輪全国大会『自動車板金』職種 持参工具一覧表

## 【持参工具】

区分	品名	寸法・規格・使用方法	数量	備考
工具 および 測定具	スケール	直尺・曲尺・自在定規を含む。	適宜	けがき・測定用
	ノギス		適宜	
	ハイトゲージ	トースカンを含む。	適宜	
	すきまゲージ	シックネスゲージ(テーブ)・ビングエージ・テーパゲージを含む。	適宜	
	スコヤ		適宜	
	ペベルプロトラクタ	分度器、角度計を含む。	適宜	
	けがき針		適宜	
	センタポンチ		1	
	コンパス		適宜	
	測定定盤	最大寸法は 600.0mm × 900.0mm以内とする。	1	
工具 および 測定具	ブロック	直方体(中実)であること。木製当盤との組合せは禁止する。測定定盤上でのみ使用可とする。	5	面取りはC2・R2程度
	やすり	紙やすり・バリ取り用工具を含む。	適宜	
	金切りはさみ		4	
	切りたがね		1	
	影たがね	最大刃幅は、80.0mm以内、使用面は一面で凸形状とする。	6	材質は問わない
	片手ハンマ	各種基本形状のもの。	20	
	板金ハンマ	打撃可能な工具は、切りたがね・影たがね・センタポンチとする。		
	木ハンマ			
	*ならし金敷き	頭部の最大寸法はSΦ120.0mm以内とする。 個々の総重量は6.0kgf以内で凸形状とする。		
	*心金	支柱を含めた最大長さは500.0mm以内とする。 横断面形状は均一とし、最大寸法はΦ80.0mm以内で凸形状とする。 端部の角は、R10.0mm以内とする。(全周同一Rとする。) 支柱は、端面に取付けるものとする。	8	支柱は使用しない 万力に固定して使用
工具 および 測定具	*木製当盤	一辺の最大長さ300.0mm以内、横断面の最大寸法はΦ150.0mm以内とする。 凸形状とする。 当盤同士の組合せおよび木うすとの組合せは禁止する。 競技中の修正は禁止する。	5	樹脂製も可
	板金定盤	最大寸法は 600.0mm × 700.0mm以内とする。	1	
	木うす	使用面の最大径はΦ500.0mm以内、使用面は1面とする。 彫込み内に、凹凸を設けないこととする。また、彫込みの斜面に設けるRは2つまでとする。 本体の上面と側面のエッジの面取りは、C3またはR3までとする。 競技中の修正は禁止する。 木製当盤・ブロックとの組合せは禁止する。 マグネットベースを固定するための彫込みは禁止する。	1	樹脂製も可
	砂袋		1	
	ゴム板	公称厚み5.0mm(製造誤差+0.4mm)以内、形状は正方形または長方形とする。 競技中、工具へ貼り付けての使用は可とする。木うす内の使用は不可とする。 マグネットシートを含む。 事前けがきは禁止する。	適宜	
	けがき用シート	公称厚み0.5mm(製造誤差+0.05mm)以内、200.0mm × 200.0mm以内の正方形または長方形とする。 事前けがきは禁止する。	2	樹脂製
	マグネットベース	角度付(角度可変も含む)も可とする。木うすの彫り込み部分での使用は不可とする。	適宜	
	プライヤ	やっこ、バイスプライヤ、C型クランプを含む。 持参工具や作業台との固定は禁止する。 成形加工(直接工具としての)には使用しない。	適宜	市販のものに限る。改造は行わないこと
	電気ドリル一式	バッテリ式も可とする。割れ止め用ドリル(Φ3以下)、ホールソー(Φ30以下)、穴あけ用当て木	一式	
	作業台	万力	一式	
その他	ガス溶接装置一式	調整器、ホース、吹管、火口、溶接作業台、吹管立て、イス、手袋、保護メガネ、ライタ、保護具等、ボンベ台車	一式	酸素、アセチレンは主催者で準備する
	ウエス	布ウエス、紙ウエス、不織布ウエス	適宜	
	ビニールテープ	ガムテープ、両面テープを含む。 加工中製品を拘束する使用方法は禁止する。	適宜	
	養生用テープ	養生用シート(公称厚み0.2mm(製造誤差+0.05mm)以内)を含む。 きず防止用、事前けがきは禁止する。	適宜	製品原寸形状は不可
	筆記用具等	ペン、ハサミ、時計、電卓、消去液、防鏽油、カッタナイフ、工程表(寸法表は不可)、メモ用紙、新明丹	適宜	
	調整用工具	六角棒スパナ、スパナ、モンキレンチ	適宜	ならし金敷き・心金用

## ※注意事項

- 1 数量は最大数であり、使用しない場合は持参しなくてもよい。
- 2 工具で縫型などに該当するとみなされるものは持参を認めない。
- 3 万力に固定できる工具は\*がついているものとする。(製品の固定は、不可とする)
- 4 ハンマで打撃可能な工具は、切りたがね・影たがね・センタポンチとする。
- 5 必要に応じて、床焦げ防止対策資材を用意すること。
- 6 ガス溶接技能講習修了証を持参すること。
- 7 工具点検後の持ち出しおよび持ち込みは不可とする。